



広報よこはま  
港北区版を  
スマホで読む



港北区  
ツイッター



9月号  
No.299

# こっほく

掲載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる場合があるため、事前に問合せ先に確認してください

# 大地震への備え

大地震は突然、私たちに襲いかかってきます。  
大地震が起きたら、**身の安全を守る行動が最優先**です！  
自分や家族の命を守るための備えはできていますか。適切な避難行動  
や自宅の安全対策、必要な備蓄品をもう一度確認してみましょう。

横浜市において今後30年間に震度5弱以上の  
揺れに見舞われる確率(2021年3月時点)

震度	5弱	5強	6弱	6強
確率	99.6%	86.0%	38.1%	5.8%

出典:「全国地震動予測地図2020年版 地図編」地震調査研究推進本部(2021年3月26日公表)

## 避難生活はどこで送りますか？

地域防災拠点(避難所)は、被災した人たちが一定期間滞在し、避難生活を送るための場所です。しかし、**地域防災拠点の受入人数には限界があります**。自宅に危険がなく、安心して生活できる状態であれば、**在宅避難を検討してみましょう**。住み慣れた家での避難生活は、感染症のリスクを減らし、プライバシーを確保しながらストレスなく過ごすことができます。

### 在宅避難の判断基準

((地震発生))

#### 判断1 自宅の危険を見極める

- 自宅や隣家の倒壊・火災等の危険がないか
- 生活できないほど家具や食器が散乱していないか

危険がない

#### 判断2 自宅で生活できるか確認

- 生活していく上でサポートが必要か
- 必要な備蓄品があり、使える状態か  
※在宅避難者も地域防災拠点で物資を受け取れます。
- トイレは使用可能か
- 電気・水道・ガス等のライフラインは使用可能か

危険や不安を感じる

自宅で生活  
できない

自宅で生活  
できる

地域防災拠点

在宅避難

## 家の中は安全ですか？

家具の配置を考え、  
出入口を確保しよう！

家具等を固定し、  
倒れないようにしましょう！

飛散防止  
フィルムを貼り、  
ガラスが飛び散らない  
ようにしましょう！

重い物は低い場所に置き、  
落ちてこないようにしましょう！

## トイレが大問題を引き起こす!?

大地震が起こると下水管が破損する恐れがあり、無理に使用すると**下水が逆流**することがあります。下水を使用できるか確認してからトイレを使うようにしましょう。

確認方法は、本紙2021年9月号「知っていますか？震災時のトイレについて」で紹介しています。

2021年  
9月号は  
こちら



## 備蓄品の準備は万全ですか？

1週間分(最低3日分)を備蓄しましょう

ライフラインの復旧には時間がかかります。主な備蓄品はもちろん、家庭の状況に合った備蓄品も準備しましょう。

### 東日本大震災時のライフライン復旧までの期間

電気

1週間

水道

3週間

ガス

5週間

### 主な備蓄品

- 水(1人3L/日)
- ポリタンク
- 懐中電灯
- バッテリー
- 食料(レトルトや缶詰)
- トイレパック(1人5回分/日)
- 常備薬
- カセットコンロ
- カセットボンベ(1人1本/日)  
※気温によって必要な本数は変化します。



在宅避難の  
ポイントをまとめた  
在宅避難啓発  
リーフレットは  
こちら



●問合せ 総務課 防災担当 ☎540-2206 fax 540-2209

港北  
区役所

〒222-0032  
港北区大豆戸町 26-1  
☎540-2323(代表)  
fax 540-2227

開庁日

なるべく電車・バスで  
ご来庁ください

月～金曜(祝休日・年末年始除く) 8時45分～17時  
第2・4土曜 9時～12時 9月は10日・24日  
(戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の窓口)

港北区の  
データ  
(2022年  
8月1日現在)

人口  
361,729  
世帯数  
179,101